

## 令和7年度 学校評価アンケートの結果について

設問	職員 A+B	保護者 A+B	児童 A+B	■職員 ■保護者 ■児童			考察
				0%	20%	40%	
① 自分の子どもは、より良い自分になるために、自分の行動を振り返り、反省している。	96%	75%	75%	1		児童に身に付けさせたい資質能力については、職員が約9割、保護者・児童の約8割が身に付いていると評価しています。しかし、③身の回りの整理整頓などについては、十分でないと感じている保護者が約3割おられます。また、①⑥に関しは、自己肯定感が低い児童が全体の4分の1程度いることから、自信をもたせる教職員や保護者のかかわりが大切になってくるものと思われます。今後、子どもへのかかわり方などを一緒に考えるなど、さらに連携を深めていきたいと思います。	
② 自分の子どもは、興味のあることや疑問等があると、教師や友だちに、進んで話したり質問したりしている。	93%	77%	78%	2			
③ 自分の子どもは、整理整頓や学習用具の準備など、身の回りのことは自分でできている。	89%	68%	78%	3			
④ 自分の子どもは、家庭や社会のルールを守って生活している。	96%	94%	79%	4			
⑤ 自分の子どもは、自分自身の良さや課題を分かっている。	100%	71%	81%	5			
⑥ 自分の子どもは、「自分は頑張ればできる」という前向きな気持ちを持っている。	88%	79%	75%	6			
⑦ 自分の子どもは、自分と違う意見を認め、仲間と協力できている。	92%	83%	87%	7			
⑧ 自分の子どもは、動植物に優しく接するなど、命の大切さを理解している。	92%	96%	85%	8			
⑨ 学校は、子ども一人一人の必要に応じた、適切な支援を行っている。	96%	80%	82%	9			⑩子どもの人間関係等への対応については、学校の対応が十分でないにとらえておられる保護者が少なからずおられ、この点については、再度、学校の対応等について、教職員で共通理解し、子どもが安心して学校生活ができるよう取り組んでいきます。また、⑪「早寝、早起き、朝ごはん」⑬メディアコントロールについては、昨年度同様、ほとんどの家庭で徹底されているものの、一部実践が不十分な家庭もあるので、今後も家庭との連携をさらに充実させ、子ども自身がしっかりと力をつけられるよう取り組んでいきます。
⑩ 学校は、子どもの人間関係等に気を配り、問題には適切に対応している。	96%	75%	85%	10			
⑪ 学校は、「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣の大切さについて子どもに指導を行っている。	76%	93%	73%	11			
⑫ 学校は、子どもの登下校の安全に配慮している。	84%	88%	92%	12			
⑬ 学校は、テレビ・ゲーム・スマホ等は、適切な時間内で使用するよう子どもに指導している。	84%	91%	68%	13			
⑭ 学校は、子どもの読書推進に努めている。	80%	85%	66%	14			
⑮ 学校は、育友会や地域の行事をよく理解し、活動に協力している。	69%	90%		15		教育活動への御協力や参観など、誠にありがとうございます。今後も二学期制のよさを発信しながら最大限に生かすとともに、更なる学校教育活動の改善に努めてまいります。また、各種通信等でも教育活動の様子等を発信してまいります。	
⑯ 学校は、授業や学校行事を参観する機会を適切に設けている。	88%	99%		16			
⑰ 学校は、学校・学級通信や便り等で教育活動の様子をよく知らせている。	75%	97%		17			
⑱ 学校は、二学期制であることを生かして、開催時期や内容を考慮しながら行事等の教育活動を充実させている。	80%	85%		18			